

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 4年 10月 20日

事業所名 こぼんはうすさくらさいたま志木教室

保護者等数(児童数)17名 回収数 17名 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	Y%	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17件				100.0%	・広いと思う	・教室で行うプログラムも広さなどを考慮して設定してまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15件			2件	88.2%	・子どもの人数に対する職員の配置数や持っている資格等を把握したい。	・配置数は説明書でご説明してまいります ・資格などについては、職員紹介ページにてご説明いたします ・登園、降園時(玄関付近)は職員配置を徹底して安全面を考慮し、対応しております
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12件	3件		2件	70.6%	・玄関のところで、靴を脱いでいる子、手を洗っている子が一人ずついるだけでドアを開けるとぶつかってしまいそう。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17件				100.0%		
保護者 への 説明 等	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17件				100.0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12件	1件		4件	70.6%	・ガイドラインが不明。	・今回が初めての実施になります ・HPなどにアップします
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16件	1件			94.1%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16件	1件			94.1%	・とても工夫されていると思う。 ・教室外で行われるプログラムが多くて良い。 ・季節にあわせたプログラムや行事があり、とても工夫されている	・現状に満足せず、よりよい支援や療育を提供してまいります
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4件	5件	5件	3件	23.5%	・幼稚園と併用しているため問題ない。 ・なくても問題ない。	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16件	1件			94.1%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15件	2件			88.2%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5件	5件	2件	5件	29.4%	・今後ぜひ実施してほしい。	・今後も、定期的に「保護者会」「個人面談週間」を実施いたします
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16件	1件			94.1%	・送迎時に毎回良かったこと、できなかったことを伝えてもらえるため、理解できる。 ・送り届けの時に今日の様子(できたことはこちらが不安に思っている点に絞って伝えてくれるなど)を伝えてもらった。	・送迎時だけではなく、教室見学に来ていただいたり、モニタリングの場を促させていただきます
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16件			1件	94.1%	・まだ初日なため回答できない ・オムツはずしの時期についてアドバイスしてもらい助かっている。	・今後も保護者様とお子様との些細なことでも話し合いや相談できる場を提供してまいります。	
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11件	1件		5件	64.7%			
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16件			1件	94.1%	・申し入れにすぐに対応してもらえた。スピード感があって安心できる。 ・LINEでの連絡手段を準備していただき、ワクチン接種日の連絡にもすぐ対応してくれた。	・保護者様の問い合わせには、多くの選択肢や答えを持って対応させていただきます。お子様の支援につながるようサポートさせていただきます	
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16件			1件	94.1%			
18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16件	1件			94.1%	・HPで見られる活動の様子はいつも楽しみに見ている。		
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17件				100.0%			
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16件	1件			94.1%	・行っているか不明。	・年2回以上の研修、事例検討を行っています
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13件	2件		2件	76.5%	・行っているか不明。	・避難訓練は3月、9月に実施しております
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	16件			1件	94.1%	・非常に楽しく通えている。嫌がらないため、親としても助かる。 ・毎日お迎えの車を楽しみに待っている。 ・大満足	・今後も、子どもたちが楽しく学んだり、遊んだりする機会を提供いたします
	23 事業所の支援に満足しているか	17件				100.0%	・目に見える成長があり、日々のご指導に感謝しかない。	・現状に満足せず、よりよい支援や療育、そして楽しいプログラムを提供してまいります

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 10月 20日

事業所名 こぼんはうすさくらさいたま志木教室

		チェック項目	はい	いいえ	Y率	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11件		100.0%		
	2	職員の配置数は適切であるか	11件		100.0%	・職員配置が充実している	・職員配置は固定されていると良いのでは
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件	6件	45.5%		・児発トイレの段差が危ない ・靴を置くスペースが狭く、下駄箱の角が危ない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11件		100.0%	・個室が多くある	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11件		100.0%	・上長との面談がいつでもできる	・自身のスキルチェックや、振り返りが持てる場面が欲しい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11件		100.0%	・保護者との接点が多い	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4件	5件	44.4%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5件	6件	45.5%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11件		100.0%		・他教室の様子などを動画で見たい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11件		100.0%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10件	1件	90.9%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11件		100.0%	・地域支援は「園訪問」を通して、関わりや関係性を持てている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11件		100.0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11件		100.0%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11件		100.0%	・様々なプログラム提供ができています	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	11件		100.0%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11件		100.0%		事前や事後のミーティングで振り返りや、改善点などが話せる
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11件		100.0%		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11件		100.0%		・履歴をしっかりと残しており、モニタリング・計画書に役立っている	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11件		100.0%			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11件		100.0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10件	1件	90.9%		定期的に相談支援事業所とコンタクトをとっている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3件	6件	33.3%		該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4件	5件	44.4%		該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9件	2件	81.8%		積極的な園訪問を実施している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8件	3件	72.7%		

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8件	2件	80.0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4件	7件	36.4%		・個人情報の守秘義務により行っていない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2件	8件	20.0%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11件		100.0%		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8件	3件	72.7%	保護者会や保護者参加型のプログラムを実施している	学期に1度の実施を目指す
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11件		100.0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10件		100.0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11件		100.0%		・園での様子を把握して今後の対応を一緒に考えている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11件		100.0%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11件		100.0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10件	1件	90.9%		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11件		100.0%		・送迎車に事業所名を明記していない
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11件		100.0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1件	10件	9.1%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11件		100.0%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11件		100.0%		・日頃から災害に対して意識し、様々な非常時に対応できるように心がける
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11件		100.0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9件	1件	90.0%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11件		100.0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7件	4件	63.6%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5件	5件	50.0%		